

ベナン共和国 ウィンヒ郡 ウィンヒ・センター行政区
オジャ・オダン公立小学校のための
3 教室を擁する 1 棟の校舎の建設に関する
作業報告書その 1

(2025 年 12 月 11 日～2026 年 4 月 3 日)

A2025 年 12 月 11 日に私たちはオジャ・オダンに到着しました。私たちは村の人々を 14 時からの総会に招待していました。私たちの到着後、住民は短時間で集まりました。市長、技術部門の責任者、そして市の財務部門の責任者が総会に参加しました。挨拶の後、契約書が読み上げられました。市長自らが多くの説明を行ってくれました。すべてがよく理解され、建築現場で問題が起きないようにすることが、市長にとって非常に重要だったのです。すべての質問に回答し終えた後、住民は契約書に賛成票を投じました。



その後、市長は、彼ら全員が共同で決定した新しい校舎の建設予定地を私たちに案内してくれました。また、作業員たちのための寝泊まりする部屋や、建築資材を保管するための倉庫も案内されました。すべてが事前にしっかりと計画されていました。私たちは、板やチークの丸太をどこで調達できるかを尋ねました。釘はカラヴィから持参していました。チークの丸太は村で切り出されました。しかし、板はポベで購入しなければなりませんでした。そのため、私たちはそこへ向かい、同時にセメントと鉄筋も購入しました。輸送の段取りが少し難航しました。そこで、私たちはその夜はポベに滞在し、翌朝に輸送を手配することに決めました。

翌朝、私たちは幸運でした。NPO の会長は、セメントと鉄筋の輸送に同行するためにポベに残りました。私は運転手とともに、私たちの車に板を積んでオジャ・オダンへと向かい、現地で遣り方を設置しました。



その日の午後、村の人々は基礎の溝を掘り始めました。同時に、砂と砂利が納品されました。



レンガ職人たちはブロックを作り、鉄筋工たちは基礎と柱のための鉄筋の加工を行いました。



その後、オジャ・オダンの手動式のウォーターポンプが故障していることが発覚しました。人々は、建築作業のための水を、2.5km 離れた水場からバイクを使って運んでくれました。.



基礎の溝がすべて掘り終わったとき、最初のコンクリート層が流し込まれ、その上に鉄筋が配置され、柱が組み込まれました。



その上に 2 番目のコンクリート層が打設され、そこに基礎壁が築かれました。



基礎壁の上に、下部の鉄筋アンカーが準備され、打設されました。

鉄筋アンカーの上に、建物の壁が築かれていきます。短時間のうちに、壁は窓の開口部の高さに達しました。窓の開口部の下にあたる小さな鉄筋アンカーが打設され、ベランダの柱も打設されました。



壁はまぐさの高さに達しました。上部の鉄筋アンカーが型枠で囲まれ、一気に打設されました。



壁は、さらにブロック 4 段分高く積まれました。その上に、屋根の下にあたる 4 つ目の鉄筋アンカーが打設されました。



最後の鉄筋アンカーの上に、切妻壁が築かれました。柱の先端部分が型枠で囲まれ、打設されました。



続いて、スロープ、階段、そして侵食防止のための防護壁が建設されました。





構造体を1ヶ月間乾燥させなければ、屋根を設置することができません。



村の人々はこの時間を利用して、教室の床を砂で充填する作業を行いました。市長がそのための砂を手配してくれていました。村中が総出で作業にあたりました。



そしてついに、大工たちが現場にやってきました。厚板は製材所で角材に加工され、現場へと輸送されました。それらには、校庭で防虫剤が塗布されました。続いて、屋根の骨組みが組み立てられました。



その上に桁が取り付けられ、最後に屋根のパネルがネジで固定されました。



屋根がついた建物は、とても美しく見えます。



私たちの取り組みに寄り添ってくださるすべての友人の皆様に、心からの感謝を捧げます。温かいご支援なしには、実現不可能だったことでしょう！

心を込めて
當田アストリット